

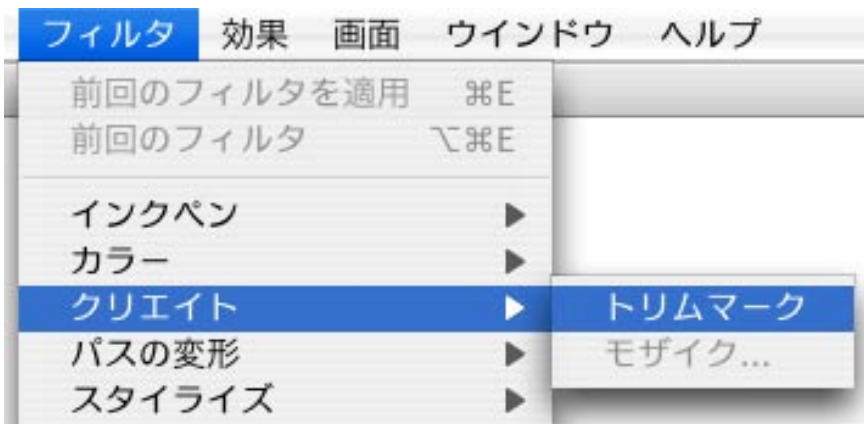
## データ作成時の注意 (イラストレーター CS ~ CS4)

### トンボ(トリムマーク)を付ける。

トンボは印刷の仕上りサイズ、塗り足し部分を正確に伝えるために、必ずトンボをつけて作成して下さい。

トンボは以下の方法で作成して下さい。

仕上りサイズのボックスを選択した状態で、フィルタメニューから「クリエイト」→「トリムマーク」を選択して下さい。



※CS4の場合は

「効果」→「トリムマーク」となります。

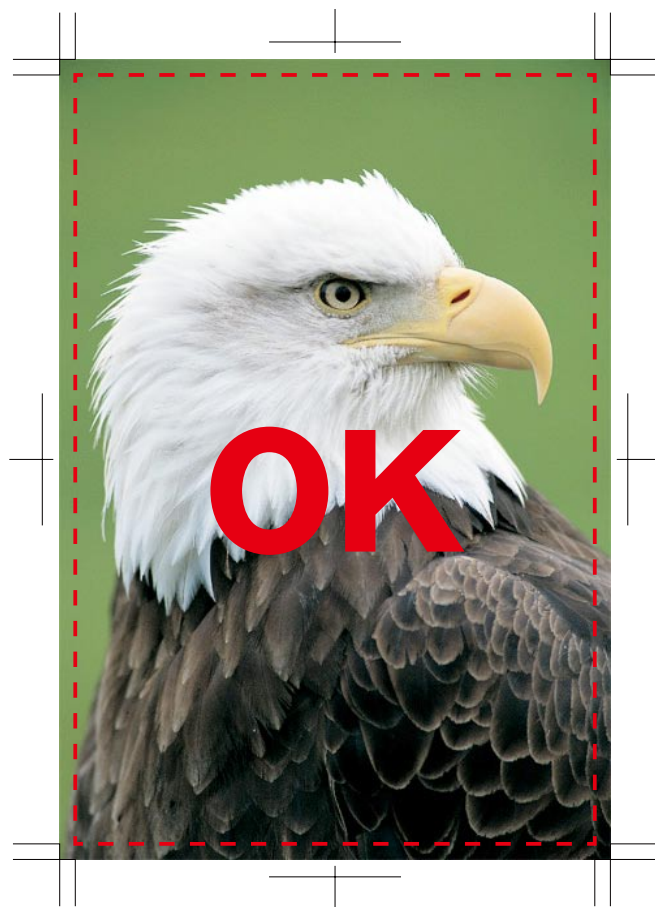
### 塗り足しを付ける。

写真やオブジェクトが仕上りサイズまで来る場合、微妙な用紙のズレや断裁時のズレにより白場が見えてしまう事があります。それを防ぐため、仕上りのサイズより外側に上下左右3mm程、余分に写真やオブジェクトの幅を広げておく必要があります。この部分を「塗り足し」といいます。データ作成時には必ず「塗り足し」をつけて作成して下さい。



仕上りサイズでデータができている。

断裁時白が出てしまうおそれがあり。



塗り足しまでデータが作成されている。

※断裁時の僅かな位置ズレにより、印刷仕上り範囲付近にある文字やデザインは切れてしまう可能性があります。

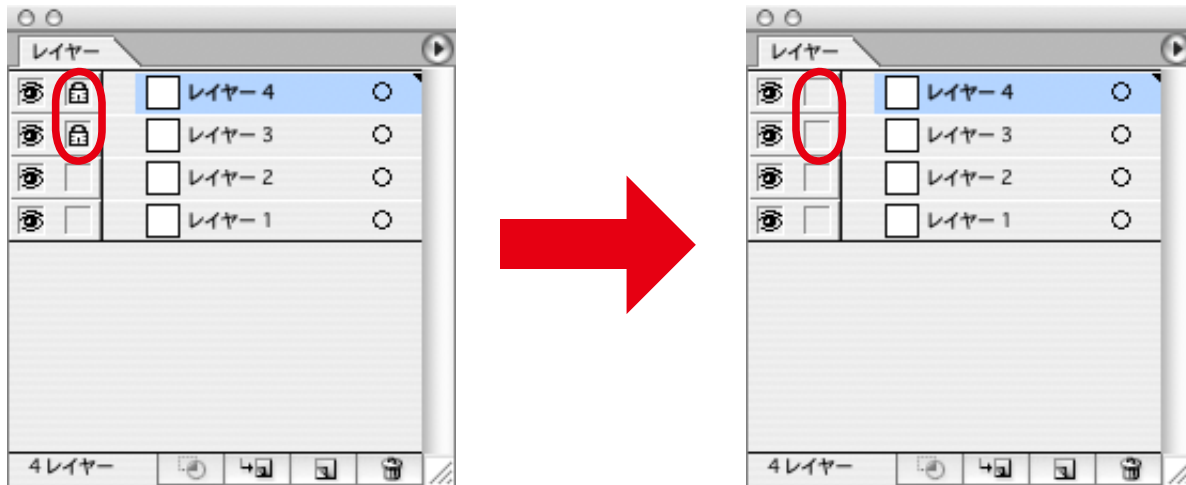
切れては困る文字やデザインは印刷仕上り範囲より2～3mm程内側で作成して下さい

フォントは**全てアウトライン化**して下さい。

アウトラインをとり忘れると文字化け等のトラブルが発生する場合がありますので、必ずアウトライン化して下さい。

## アウトラインの取り方手順

レイヤーのロックの解除

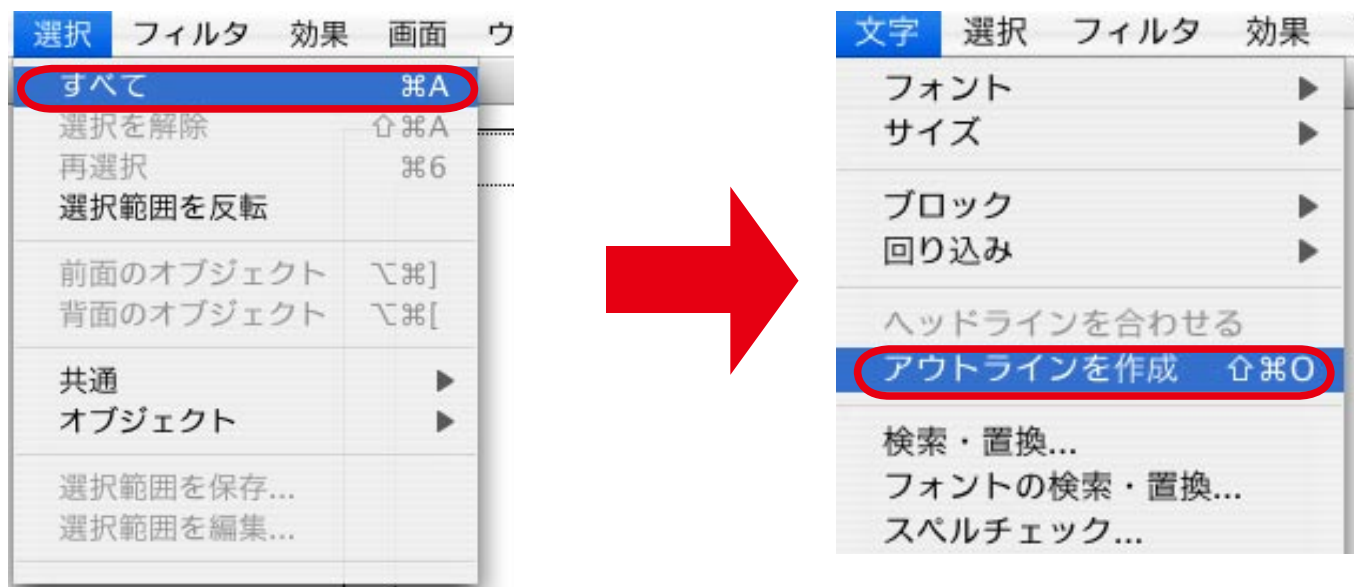


オブジェクトのロックを解除



文字のアウトライン化

「選択」 → 「全てを選択」 → 「文字」 → 「**アウトラインを作成**」を選択します。



※イラストレーター CS2～CS4は「文字」の部分が「書式」になっていますが同様です。

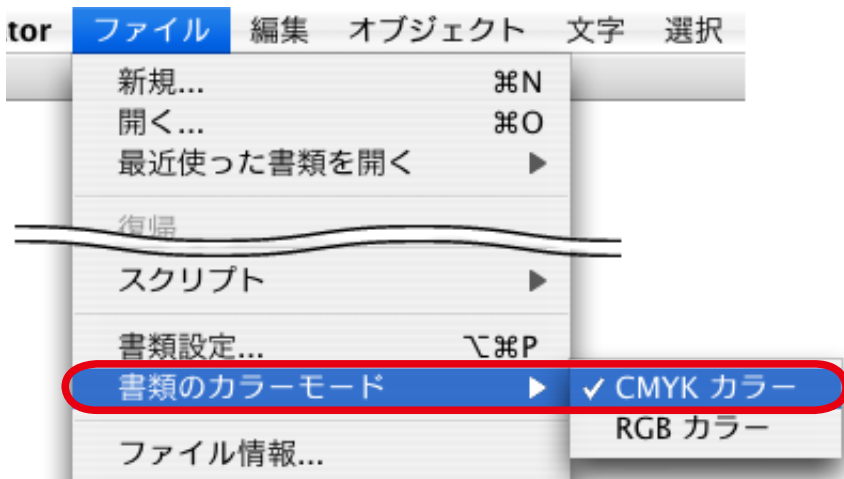
※イラストレーター CS2～CS4は

「書類」の表現が「ドキュメント」になっていますが同様です。

## カラーモード設定

カラーモードは必ず **CMYK カラー** を選択

「ファイル」→「書類のカラーモード」→「**CMYK カラー**」を選択します。

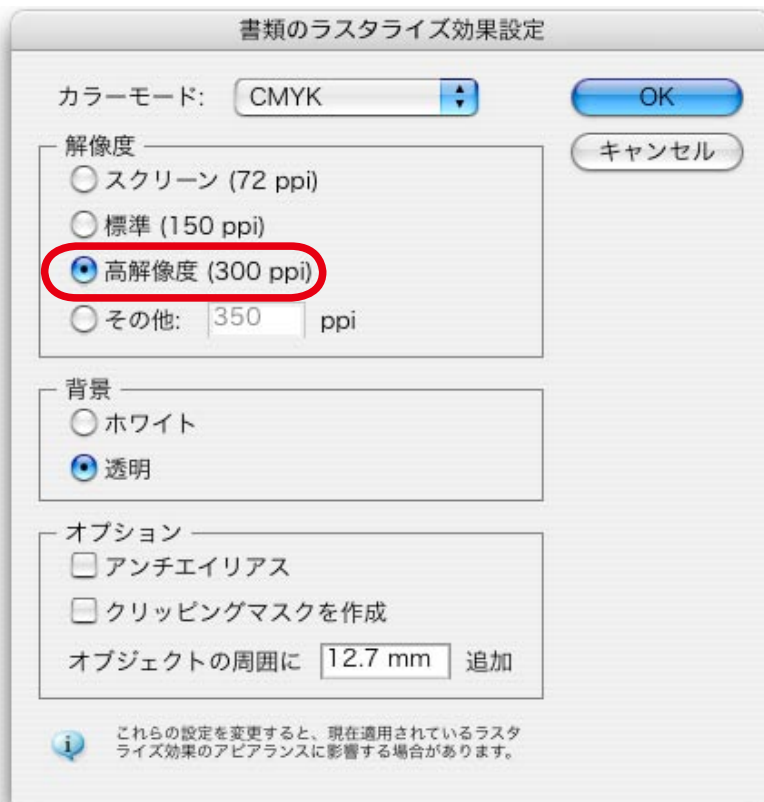


**ラスター効果設定**を確認します。

「効果」→「書類のラスターサイズ効果設定」を開きます。

適切な解像度値に設定して下さい。

印刷では、300 から 350ppi が適切となっています。



## 例：ラスター効果設定の違い

72ppi



350ppi



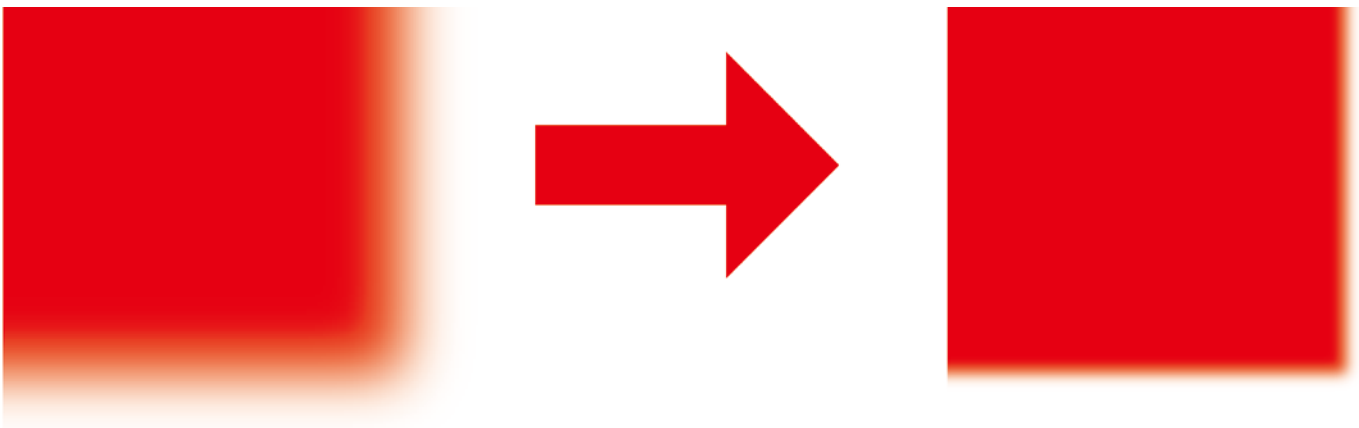
72ppi



350ppi



72ppi で設定されたデータを 300ppi に変更した場合



※ぼかしの幅が短くなります。

当社では入稿データのラスター効果設定変更は行いませんので、使用に応じた設定を行って下さい。

## 透明効果使用時の画像の埋め込み。

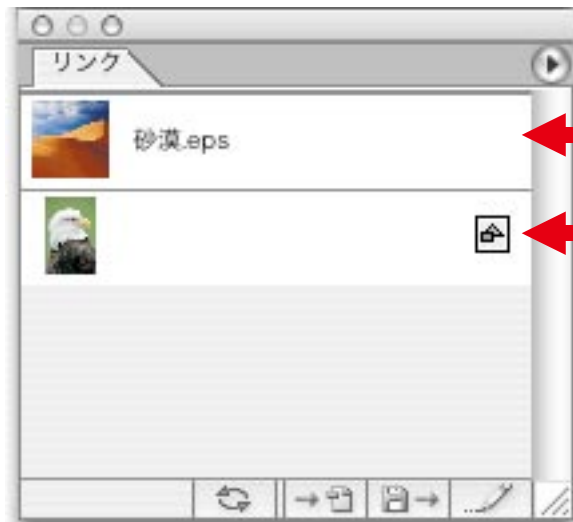
イラストレーター CS ～ CS4 では

透明効果を使用していても画像の埋め込みの必要はありません。

(※埋め込んで問題はありません)

## リンク画像の添付

Illustrator で画像データが配置されている場合、画像の埋め込みがされていない場合（下の図では【砂漠 .eps】）は、必ず Illustrator ファイルと配置した画像（下の図では【砂漠 .eps】）を1つのフォルダにまとめてご入稿下さい。



← 埋め込まれていない画像（リンク画像）

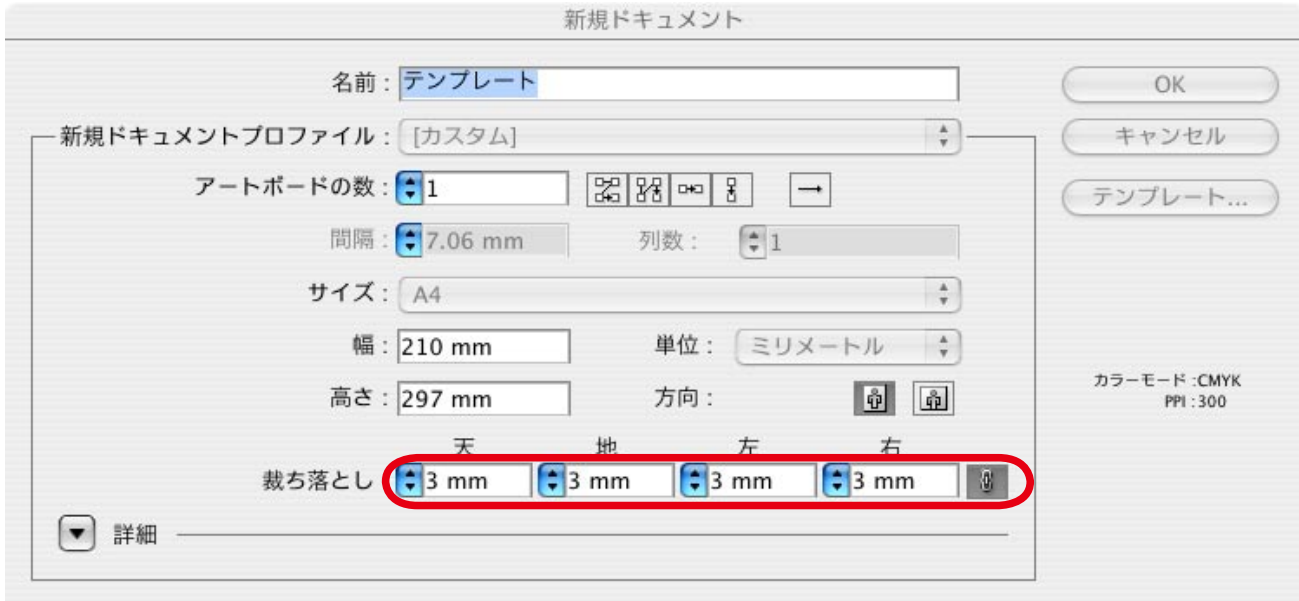
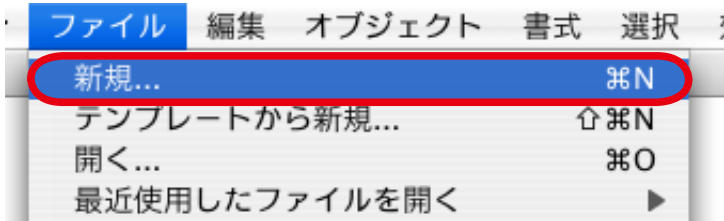
← 埋め込まれている画像（ここにマークが出る）

## CS4 の書類設定の注意点

イラストレーター CS4 のみアートボードとドキュメント設定が同じになるように設定して下さい。

新規書類作成時の場合

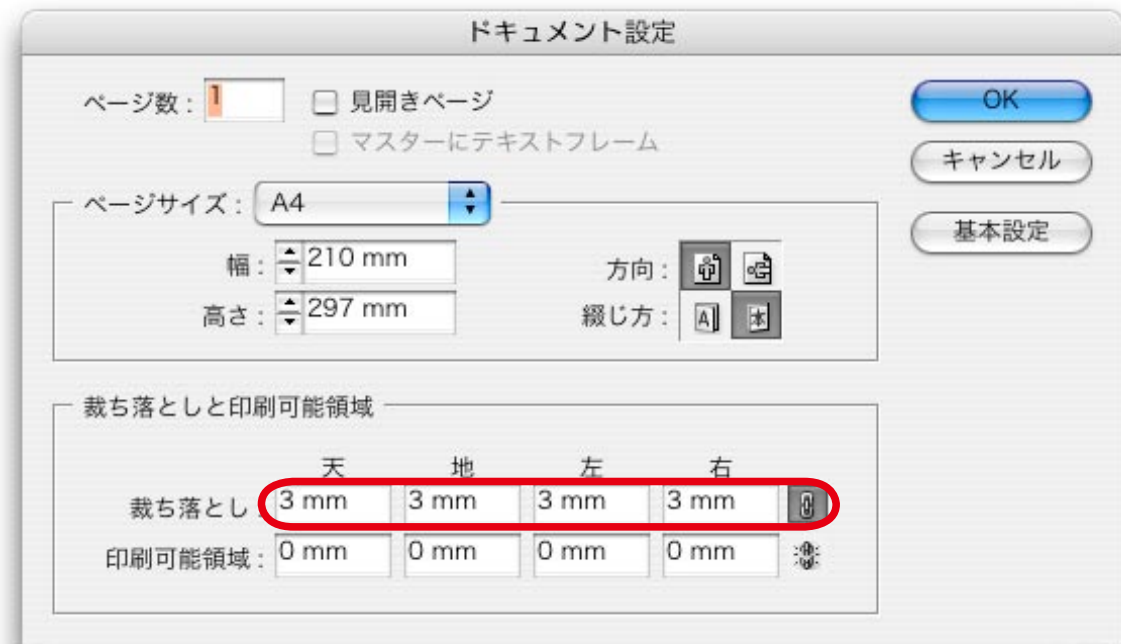
「ファイル」 → 「新規」 を選択します。



裁ち落としを 3mm に設定する

途中から設定する場合

「ファイル」 → 「ドキュメント設定」 を選択します。



裁ち落としを 3mm に設定する